

8. 競技方法 (公財)全日本空手道連盟競技規定及び審判規定による。

① 組手競技はトーナメント方式

《 試合時間 》

- 少年・一般 正味1分30秒 8ポイント先取 決勝戦 正味2分
- シニア 正味1分30秒 6ポイント先取 決勝戦 正味2分
- 幼・小・中学生 正味1分 6ポイント先取 決勝戦 正味1分30秒
- 国体種目は、10カウントルールあり。

《安全具は、下記のとおりとする。なお安全具は、検定品(全空連・WKF)であること。》

競技種目	安全具	ニューメンホー	拳サポーター	ボディプロテクター	セーフティカップ	シンガード	インステップガード
成年男子の部	○	○①	○①	○	○	○③	○③
少年男子の部	○	○①	○①	○	○	○③	○③
シニア男子の部	○	○①	○①	○	○	○③	○③
成年女子の部	○	○①	○①	○	×	○③	○③
少年女子の部	○	○①	○①	○	×	○③	○③
シニア女子の部	○	○①	○①	○	×	○③	○③
中学生男子の部	○	○①	○①	○	○	○③	○③
中学生女子の部	○	○①	○①	○	×	○③	○③
小学生男子の部	○	○①	○①	○	○②	○③	○③
小学生女子の部	○	○①	○①	○	×	○③	○③
幼児男女混合の部	○	○①	○①	○	○②	○④	○④

- ①：全種目、赤・青の両方を用意すること。ただし、小学生はリバーシブルを使用すること。
- ②：1・2年生以下は所属の監督の判断に任せます。
- ③：全ての組手競技において、シンガード及びインステップガードを着用（成年・シニアのみ赤・青使用可。但し赤・青使用する場合、赤・青両方を用意）すること。
- ④：幼児は、所属の監督の判断に任せます。

小中高は、白。

② 形競技はトーナメント方式

	予選	ベスト16	ベスト8	ベスト4	決勝	形数
成年男子	第1指定形 -同一形の繰り返し可-	第2指定形	得意形 -同一形の繰り返し不可-			5
成年女子・団体 ・シニア男女	第1・2指定形 [同一形繰り返し可]				得意形	2
少年男女	第1・2指定形 [同一形繰り返し可]		得意形 [同一形繰り返し可]			2
中学生男女	1・2回戦 第1指定形 -同一形の繰り返し可-	3・4回戦 第2指定形	得意形 [同一形繰り返し可]			3
小学生男女	平安初～5段、撃砕1・2 [同一形繰り返し可]		第1・2指定形、ベスト16以下試合において使用していない 平安初～5段、撃砕1・2 [同一形繰り返し可]			2

脱2-7中学、模範は、学校名で可

- 第1・2指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF)の「付録15 指定形リスト」並びに「付録16 得意形リスト」から選択しなければならない

- ③ 選手は各自、背番号・各市町村名 ~~又は~~ 中学校・高等学校のネームを左胸に縫い付けし、着用すること。
- ④ 選手は、組手競技・形競技いずれも赤帯・青帯を各自で用意すること。

- 9. 選手の服装は、ストライプ・縁飾りのない白の空手道衣を着用すること。左袖の刺繍は、埼玉県名のみ認める。色は黒色とするが、スクールカラーの使用は認める。
- 10. 彩の国杯の得点は、小学生男子・女子、組手・形個人戦(ベスト4)の合計とする。
- 11. 組合せ抽選は、大会運営委員会に一任し、その結果については、意義申立しないものとする。
- 12. 参加申込市町村事務担当者は、別紙詳細の通り申込こと。